

# 松杉の苗新聞

2008年12月1日発行  
発行者 横手市立増田小学校  
協力 后藤はるみ 委員会  
さぶん賞 実行委員会  
木造住宅産業協同組合  
秋田銀行  
以上のおへームページを参考にしました。

三年前、マツクイムシの被害にあたった海岸林を守る活動が紹介された。  
左の写真は、秋田銀行の社会貢献活動に参加したボランティアのみなさんだ。  
なぜ海岸林を守らなければならぬのか、山奥に住んでいる私には大切さが分からなかった。  
教えてくれたのは三つのコシクールだ。  
なぜぶん賞で木のまほうと人間の志を。  
海と命を。木の森で水と命を。  
木のまほうと人間の志を。  
調べた。毎年応募していよいよ海とくらしについていた。  
じやまな  
根、こを出して  
元気な松に

百年前に  
松杉の苗を植えよう  
自分の利益より  
人のため地球のため  
す。その命のために  
苗を植える  
命はつながっている  
森と雨と私達  
海とさかなと私達  
地球と木と私達  
みんなつながっている  
エコ活動は  
命をつなぐための大  
切な絶対に必要な  
しこと



海岸林の役目  
下草刈 (H17.10.29)

防砂  
景観をよくする  
飛来塙分を減少  
防風  
海岸林の役目  
木を植えよう正しい森林をつくるエコ活動が私の  
生きていかれない。木林林  
ボランティアも一度だけでは命がつからない。木を植  
いたり、木を切り必要な木を植えよう。木を植えた  
自然が一番という言葉を聞くけど野放しにしておいていいという意味ではない。母いわく「子供のしつけと植物のせ話は手間と心配だそだ。私が自由に伸びのびさせで  
く二年早く。人間は毎日食事しないと生きていかれない。木林林  
生きていらっしゃいました。でも、九月の中ごろ  
急にとくなってしまいまして。でも、九月の中ごろ  
私は祖父といっしょに木を植えた  
とても物知りで優しい祖父  
は、木を植えよう。木を植えた  
こと、そして「百年の為に松杉  
苗を植えよう」は一生忘れません。  
これを今度こうと言います。  
「じいじ、これクラモ地球のために  
生きていくつちに言えなかた  
ことを今度こうと言います。  
この作業をしていく  
母、わくじま木の根、こは不良がかしま  
くるように、なかなかはなれてくれないらしい。  
この作業をしていく  
ボランティアの表情を見ても、誰一人樂えて  
いない。だが、これは大切な作業で手を  
ぬけない。大切な作業で手を



クロマツの  
植林  
(H17.10.16)



枝打作業など  
森林整備  
(H17.11.6)

私がこの新聞を書きかけをつてくれたのは私の祖父です。祖父は、いしに森の手入れをしたり、百年の為に松杉の苗を植えようを教えてもらったりしました。でも、九月の中ごろ急にとくなってしまいまして。でも、九月の中ごろ私は祖父といっしょに木を植えたとても物知りで優しい祖父は、木を植えよう。木を植えたこと、そして「百年の為に松杉苗を植えよう」は一生忘れません。これを今度こうと言います。  
「じいじ、これクラモ地球のために生きていらっしゃいました。でも、九月の中ごろ急にとくなってしまいまして。でも、九月の中ごろ私は祖父といっしょに木を植えたとても物知りで優しい祖父は、木を植えよう。木を植えたこと、そして「百年の為に松杉苗を植えよう」は一生忘れません。これを今度こうと言います。  
この作業をしていく  
母、わくじま木の根、こは不良がかしま  
くるように、なかなかはなれてくれないらしい。  
この作業をしていく  
ボランティアの表情を見ても、誰一人樂えて  
いない。だが、これは大切な作業で手を  
ぬけない。大切な作業で手を

## 海山岸林を守る —秋田銀行の社会貢献活動—

うまい魚、は森が育てる  
—魚のお父さんは木林—

感想